



(6) 名前のない新聞 No.208 / 2018年 11・12月号

Illustration: Chinatsu



円◎結 marumusubi (総社市)
～畑の中のチルアウト・ラウンジ～

スペース・店・講座・印刷物等々人のエネルギーが集まる「場」の紹介コーナー



311のあと東京から岡山の田園地帯に移住してきた一家が、もともと牛小屋だった建物を自ら改装して開いたスペース「円◎結 marumusubi」が先月10月にオープンして1年を迎えた。オーナーのムーキーさんが東京時代に培ったネットワークとセンスを生かし、「畑の西麻布」というコンセプトで文化的発信をする場となっている。この1年間で、ライブ、ワークショップ、ファッションショー、ダンス、パーティ、展覧会、展示会、カフェ、などのイベントを開いてきたという。先日訪ねてどんな場にしていきたいのかなどのお話を聞かせてもらった。



←ムーキーさん。DJとしても知られている。

円◎結 marumusubi / シネまるむすび
岡山県総社市東阿曾1296(駐車場住所)
090-8110-6987
marumusubi.1@gmail.com
//www.facebook.com/marumusubi



↑円◎結を東側から見た外観。手前の庭でたき火をしたりヨガなど活用していく予定。

●東京には32、33年住んでいて、震災のあと直ぐに引っ越したかったんですが、子どもの学校とかいろいろあって、それに実は東京で家を買ったばかりだったんです。でもモノに執着するのはやめようと思いついて、大事なことはなにか考えようということになって、場所を探して、それまで岡山には来たことがなかったんですけど、岡山に越してきてほんとによかったです。歴史とか神話が生きてると言うか、その中にいるんで、面白いことが起こってくるけど、地元の人的には身近すぎてあんまり話題にならない。

だからやっぱり移住者というか外の眼というのも大事ですね。外の価値観というか、ワイドな見方を持ってきて、そこにあるものを再評価していく。それは外から来た人の役目だなと思います。

●東京では主に音楽周辺の仕事をしてたんですが、もともとDJがいちばん最初で、80年代の後半くらいから、いわゆるアンビエントの音楽に非常に惹かれてたんです。西麻布のイエローっていう大きいクラブができるんですけど、テクノのプロデュースをしないかと声をかけられて、店を立ち上げて3年間そこでやってたんです。

僕が西麻布にいたころは、西麻布は東京の中でも奥座敷みたいな時期で、いわゆる業界

人たちがそこに来てたんです。そこの飲み屋での会話からいろんな現実的なアイデアが生まれていたりして、そんな街の空気がすごく好きで、そういう隠れ家的な場所にここがなっていったらいいなと。自分の大事な精神的なことや文化的なことに関しても、なるべく薄めないで出していきたいと思ひ、自分の住まいでもあるし、いろんなことを考えた結果、会員制にしちゃえと思ったんです。意識が開いていて、自分以外のこともちゃんと大事に出来る人達に来て欲しい。

ここは会員制を守りつつ、わかってる人たちが遊びにきてくれる場所でありつづけていって思うんです。そこまですたら僕の手がとどく範囲でできるかなと。

●岡山はもともと農業が豊かだから市＝マーケットがいっぱいあるし、音楽とかいろんなその他の要素がそこに入り込んでいって1つのカルチャーみたいなことになっていたら、次のステージが見えてくるんだろうなと。ここでも1回フリーマーケットやってみたいと思ってるんです。そういう遊び方の提案というか、どうやって毎日の生活が豊かになって、人とのつながりがより持てるか。

「円◎結」まるむすびという名前も、真ん中に二重丸を置いたのはそういった理由があって、田舎なんてとにかく人が少ないでしょう。けっきょくどこに人が動くのかということ、友達の友達だからってところなんです。でも、できたら文化で人が動くことがあっていいんじゃないかな。ここは小さいけど、文化を通じてまるく結ばれていくかんじ。つながりの形がまん丸になっていったら

いいなという願いを込めて、この名前にしたんです。

地方で立ち上げていけるってやっぱりやる方はたくさんおられると思うので、ローカル同士がつながり、もしくはインターネット含めよりグローバルなつな

がりをもつという縦と横の軸がちゃんとできていったらとても面白くなると思います。この10月で2年目に入ったんで、ようやく自分がやってきた得意の分野の音楽から、もっと社会的なことをいよいよ出していきたいと思ひ、映画の上映会を始めたんです。近隣の方々も含め、より入りやすい形の健康って切り口で、ここでやる以上はちょっとユニークなことを、配給会社と年間契約して、月に3本のペースでやっていくんです。

●今後、離れの方を民泊申請して使えるようにしたい。そのため五右衛門風呂をつくったり、水回りを整備してキッチンを作ってカフェができるようにしたり、2階もまだ使っていないし、いくらでもやるがあります。ここは10年計画なんですよ。古いうちに住んでる者の宿命ですけど、新しいものを買う前に手直ししていくことって必須条件なんで、自分のスキルも上がるし、変化継続していくことは手を動かすってことでもあるので、東京だったら人に頼むとか、もの買うとかって話になるでしょうけど。

— お金の世界じゃない豊かさがありますね。どうもありがとうございました。

※シネまるむすびと同時に1周年を機会に、+LIFEという、ホリスティックヘルスを軸にしたメンバー参加型の集まりもはじめた。10月に開いた足もみ健康法講座が第1回目だ。※11月12月のイベント予定は14-15pのこよみ欄に掲載しました。



天空オーケストラの岡野弘幹さんのLIVEで→

